

海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 警察当局が発表した2019年度第2四半期(2019年7月～9月)の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は46,998件であり、前年度の第2四半期と比較して6.2%の増となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	133件(前年比20.9%増)
強盗	493件(同21.7%増)
強姦	138件(同3.0%増)
未成年への性的暴行	433件(同2.9%減)
麻薬関係	155件(同24.8%減)
暴行	15,200件(同7.9%増)
窃盗	15,322件(同1.6%増)
恐喝	5,885件(同10.7%増)
詐欺	4,936件(同9.4%増)
器物破損	3,044件(同10.6%増)
傷害	913件(同5.2%増)
不法侵入	346件(同2.3%減)
合計	46,998件(同6.2%増)

2019年度第1四半期の報告に引き続き、全体的に犯罪件数が増加しています。また、今回の統計結果によると犯罪件数の合計が前年同期比6.2%増という結果となりました。2016年度第4四半期より継続して犯罪件数が増加している状況です。皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページの「安全対策基礎データ」「安全の手引き」を参考に防犯対策並びに細心の注意を払ってください。

(2) 一般犯罪(邦人被害)

・7月12日、タマレ市において、ホテルに滞在中にクローゼット内に保管していたキャリーバック内の現金が盗まれる事案が報告されています。被害は、現金のみでした。その後、警察の捜査により、ホテル従業員が逮捕されています。

・8月16日、アクラ市オス地区の駐車場のないレストランで近くの路上に駐車したところ、車上荒らしに遭遇した事案が報告されています。被害は、ノートパソコン1台でした。

(3) 凶悪犯罪(外国人被害)

・8月24日、ガーナ北部(クマシ・タマレ間)の幹線道路(Yapei近く)で、武器を用いた略奪事件が報告されています。事件は、日中に警察の制服を着用した犯罪者4～5名のグループが路上で検問を実施、5台前後の車を脇道へ誘導した後、拳銃等で脅し金品を略奪したものの、同事件による怪我人等は発生していません。

2. テロ・爆弾事件発生状況

管轄内における当該事件の発生は確認されておりません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

なし

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上